



学校だより 3 月

“桜川 学びのエリア：桜川中・桜川小”

令和 7 年 2 月 28 日
板橋区立桜川小学校

N o . 1 1



スイッチ ON を有効的に



校長 八代 麻子

気付けば令和6年度も締めめの月、3月を迎えます。子どもたち一人ひとりが、学年のまとめの学習や生活面での振り返りなどに確実に取り組めるよう、引き続き、感染症対策などの注意喚起を行ってまいります。

過日は、ご多用のところ学校評価アンケートの回答にご協力くださり、ありがとうございました。どの項目についても、おおむね肯定的な評価をいただきました。

その中で、保護者・iCS委員の肯定的な評価が約46%、児童のそれは約71%だったのは読書に関する項目で、昨年度同様に低めの結果でした。本との出会いは、文章を読み解き、行間を味わう力・表現力にもつながります。今後も、図書委員会の活動・図書館司書とも連携し、調べ学習に限らず、様々な本にふれる時間を設定していきます。

各ご家庭での「SNS やゲーム使用時のルール」については、定期的にお子さんと確認し、見直しをお願いいたします。学校でも、情報モラルの指導を継続していきます。

今後も情報発信の方法などについて検討し、教育活動の一層の改善を図ってまいります。

先日の保護者会の日に、本校スクールカウンセラー（SC）による講演会を行いました。演題は「『考える』習慣について～人差し指一本で生きていける？～」でした。教員が SC と話す中で、保護者の皆様とも内容を共有できたらよいと考えたことがきっかけでした。

- * 子どもも大人も、考えるスイッチを入れることを習慣付けることが大切。
（「どう思う？」と問うことで、考える状況にすることができ。）
- * 子どもが「分かんないよ！」と言ったら、分からないということ自体を認める。
- * いろいろな考え方があることに、気付かせるようにする。
- * 保護者同士が話している場に、子どもがいられる環境（日頃から話し合える環境）づくりをしていく。

話をする時、どうしたらいいですかと、相手にすぐ回答を求めるのではなく、まずは考えるスイッチを ON にして、自分なりの考えやイメージをもつようにしてほしいと思います。聞いた相手から答えや指示を出してもらえれば、確かに楽ではあるのですが…。

自ら考え、そうか！なるほど！と思う「アハ体験」を重ねると、脳のしわが深くなり賢くなると聞いたことがあります。考えるスイッチとアハ体験の関連性に、思い至りました。

残り数週間ではありますが、児童全員が自信をもって進級・進学できるよう、気を一層引き締めて指導・支援にあたります。保護者・地域の皆様には、多大なるご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。今後も、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

現時点での年間予定表は配布いたしましたが、個人面談の時期・回数、通知表所見などについては、検討中です。変更がある際には、改めてお知らせいたします。

来年度から、保護者の皆様には、学校だより・学年だよりを学校メールにて配信する方向で進めております。今月号は試行という形で配信いたします。（地域の皆様には、これまで通り紙面でお送りいたします。） ご確認くださいますよう、お願いいたします。